

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	粘液線維肉腫様領域を含む未分化肉腫の遺伝子変異解析に基づく新分類の試み
	研究目的	未分化肉腫は、がん細胞が正常細胞の筋細胞、神経細胞などのどれに似ているのか決められない上皮ではない悪性腫瘍であり、腫瘍の肉眼所見や病理組織所見、蛋白質の発現は様々である。粘液腫状間質を多く含む場合は粘液線維肉腫と診断されるが、この成分を一部にのみ含んでいる場合には、やはり未分化肉腫と診断される。当院の症例では、一部にのみ粘液腫状間質を有する未分化肉腫もその他の未分化肉腫と比較すると予後が良い傾向があった。これらの腫瘍は未分化肉腫から分類できる疾患群である可能性が考えられる。この比較的予後良好の一群を診断できるようになれば、患者の治療方針の決定に有用であり、この研究では遺伝子発現や遺伝子変異に基づく新たな分類の確立を目的とする。
	研究対象者	2003年～2019年に未分化肉腫、悪性線維性組織球腫の診断で当センターで手術を受けた患者を対象とする。
	研究期間	西暦 2019年 8月 7日 ～ 西暦 2023年 3月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	鷲見公太
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	病理診断科・骨軟部腫瘍外科・臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし